（明治四十一年十二月二十三日第三種郵便物認可）　日刊　月曜及祭日之翌日休刊　明治四十四年十二月十四日　（木曜日）　第八百四十號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

[illegible]
發行兼編輯人 高木久[illegible]
印刷人 松久[illegible]一郎
發行所 京城新報社
仁川支局
東京支局

一家言　エスケー生

人氣は妙なもの、隣國支那の革命騒ぎで、我國民は概ね革命軍に同情を表してをる、其理由は格別之れと云ふことはない、唯兎角弱者に味方をするといふ、一種の國民的性情の然らしめたものに過ぎぬ。

人氣と云ふものは妙な所にある、革命軍が長江を挾みて官軍と對峙し漢陽武昌に蟠居して、勝敗の決何れとも分り兼ねた時分は、國民一般ヤンヤと革命軍に聲援した、恰も新進の力士が天下の横綱と共に土俵の上に現はれた時の様なものであつた、所で流石の人氣力士も立會つて見ると存外弱い、何んだつまらないと、贔負客が拍子抜のしたのが、即ち漢陽の陥落、黄興の上海落ち。革命軍の敗北である。南京の攻撃で少しは人氣の回復をしたようなものゝ、袁世凱が人氣を回復した程にはない、今や革命黨に對する人氣は自から下火となつた、抑も妙なことだ、革命軍が弱者であつたればこそ人氣が之れに傾いた、所が戰爭に負けた、弱いのが負けるのは當然であるが弱いので同情して居たものが、事實弱かつたので何んだつまらないと見捨て、仕舞ふ、凡そ人氣と云ふものほど不思議なものはない、又これ程當にならないものはない。

▲列國と清國財政

二三日前の北京特電は支那政府の財政を外交團で管理することゝなつた樣なことを報じて來た、果して事實であるか、其後之に關する報道がないのを見ると、外交團で一問題となつてをる位で未だ實行といふ迄にはならぬらしい、併し清國を滅ぼすものは敵國にあらず内亂にあらずして財政の紊亂である、今度の動亂で愈々清國財政の窮迫は悉く世に曝け出された、全世界陸地の十二分の一を占め亞細亞州の四分の一を領し四百三十萬方哩の面積を有してをる大國の歳入出合計は宣統三年度に於て僅か六億七千餘萬兩我國貨に換算すれば十億圓、之を我國本年度豫算十億六千八百六十餘萬圓に比べると二十六倍大の大國財政の大体が略窺はれるではないか而かも清國民の擔税如何を顧ると何れも苛歛誅求に泣いてをる是迄支那に地方的騒亂の絶へないのも畢竟之れが爲である、其課税法が不公平と不條理であるのみでなく、官吏畧の慣を温めるに税金を流用されて居た事の少くないことが知られる、加之清國財政當局者は產業振興といふ方面に國費を用ひずに不生產的のものにばかり金を注込でをつたのである、これでは所詮國家の破產は免かれない、ダ其ばかりで無く、大枚二十億の外債を脊負つて重要な交通機關が其擔保となつてをる様な始末である、ソコで今度の内亂でドゥにもコウにも遣繰は出來ぬ、算盤は二進も三進も動かぬ手當り次第有る物を抵當にしてでも金を作らねばならぬ、恰も大屋が倒れかけに所有物の賣食をなす様な事になるなど、外債又は之が利子の償還が不規則となつて來るのは當然である、こゝで債權國も默つて見てをることが出來ぬこゝとなる、要するに清國の財政管理を列國でするといふ事は今日當面の急務であろう、外國の財政管理は既に埃及に於て其例が開かれてをるではないか。

●朝鮮東海魚族調査

帝國大學農科大學助手 脇谷洋次郎君談

終りに臨み元山附近が水族分布の限界を爲せる說明に於て鰻が同地以北に產せざるを一言せしが更に鰻に付きて一言參考に供すべし

鰻は内地に於ても日本海沿岸には能登以北に之を產せず朝鮮に於ても江原道の中部以北に之を產せず、且つ日本に於ては一般學者の研究として鰻の產卵所なきが如し然しながら朝鮮に於て殊に今回調査の區間に於て果して產卵處有りや無しやは時日の都合上遂に調査の機會無かりしを以て明言するを得ざるも元來鰻の產卵所は水深二百五十尋内外の海中にして水温攝氏七度を保つ地點に限られ成長稍鰻の形を爲すに至り始めて河川に溯上棲息するものにして其稚魚は成魚と全く其の形体を異にし無色透明長偏平なりさすアナゴの稚魚と殆んど相等しきも少しく陝長なり成長するに從て漸次圓長形に變ずるも寧ろ身長は短縮し幼魚として河川の淡水に溯る頃は僅かに一寸五分内外

外事一束

▲國籍●を米國に有する猶太人の旅券に就き露が頑固の態度を採り排猶太人主義を棄てざる爲米國公衆激昂し米露通商條約破棄の要求を同會に出す

▲英帝●全印度先帝エドワード記念碑をデリに安置し人民熱誠に歡呼せりと

▲獨逸●帝國議會解散し來春一月十二日を以て總選擧を行ふことに決定せり

▲墺國●チフハフ州のレース派勢ひ猖獗に政府同地に向つて軍隊を急派すと

▲國民●の激憤心熾んに意氣天を衝く概あり波斯首都に戒嚴令を布くに至る

▲露國●國旗を改正して現今の白青赤三色旗を黑黄白となすに略決定せりと

▲佛西●兩國馬德里に摩洛哥問題の協議をなし駐西英國大使亦會議に列席す

▲英露●佛の三國外相大使等巴里に會し波斯淸國海峽問題等世界的國際上▲問題●に就き八日夜鳩首意見を交換し密議を凝すこと數刻に及ぶものあり

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留



一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事

一、締切期限來る十二月二十日

一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

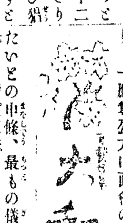
右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

梁川庄八　第五十五回

小金井蘆洲口演

梁川庄八委細を承つて呵々と打笑まして 庄『主君政宗公は左樣な小量な御方ではござらん再敵は天下の法度と云ふ事は三歳兒でさへも心得て居る、況んや政宗公是れしきの事を御存ない御方ではござらん、若し主君に於て討手を差向けらるゝとあらば、町奉行寒川又右衛門から差向くるのが順道でござる左もなくば何ぞ主君よりの召捕狀か何か持參致した上ならでは、勝手に拙者を搦め取り、或は討首に致すと云ふ事は出來ぬ事と心得る然るに主君が藻庭主水の臣四人に仇討を命じて、其者の目附役の宮田兵庫を差添へ、搦手に差向けるなぞと云ふ、左樣な無法の計ひを致す氣遣はござらん、以前宮田兵庫なる者小身微祿の者でありしが、巧に藻庭周防に取入り、其引立を蒙りし卑劣な奴なれば、或は主君の命なぞと僞りを構へ、參たかも知れぬ、何れに致せ拙者を其五人の者に御引合せ下されたく存ずる』との返答聞いて見れば梁川の申す所如何にも道理でありますから流山將監は 將『成程其許の申さるゝ所至極尤もである。就ては早速御引合せ申そう』と、家老衆申合せて、直ぐに宮田の方へ報知をして、五人の者を流山方へ招寄せました、將監は宮田に對ひ 將『昨日御申入の次第、篤と梁川に申聞けた所、何分胸に落ちぬ件もあるより、一應尊公方に面會の上御挨拶致したいとの申條、最もの儀であるにより然らば左樣取計らわんと申開け、今日御招立て申した次第、庄八は既に別室に控へて居りますゆへ、早速御對面下さるやう』と云はれて、宮田兵庫は愕然としましたが、今更此場に臨んで否やとも云へない者ですから 兵『委細承知致しました、宜敷御計ひを願ひます』と双方席を隔つて面談する事に相成りました、席には流山將監、正木大膳が差控へて居ります、頓て中の間の襖をサラリと押開いていよ〱庄八と宮田外四人の者の顏を見合せる、五人の者は梁川を見る、と眼に角立て面に怒氣を含み居る樣子、庄八は冷笑ひをしながら宮田に對ひ 庄『ヤア珍らしや宮田兵庫一別以來久々の面會……扨其方今般主君政宗公の仰せなりとて藻庭主水の家來四人の差添へとなつて拙者の追手に來りしとな』兵『オー云ふにや及ぶ其方の首討取つて歸國致すの心體なり』庄八呵々と打笑ひ 庄『イヤ宮田主君の仰せではあるまい、汝は主水の依賴を受けたれども主水の使者とあつては、當里見家にて取合はぬ虞ありと懸念なし君公の仰せと僞り來りたるに相違あるまい』と星を討たれて兵庫は烈火の如く怒り 兵『是は無禮なり主君の使者に對つて僞りなりとは奇怪千萬の一言なり、今一言申して見よ、其儘には捨置かんぞ無禮者メ』其權幕は愧づるが如く怒れるが如し 庄『是は兵庫の云草かな、汝は能く〱理に疎き拙者と見るな』と冷笑をした、兵庫は[illegible]らげ 兵『拙者とは何事ぞ最早容赦[illegible]の柄に手を掛て立上らん[illegible]鬪場ではござらぬ、御控へめされイ』と叱付られて流石の宮田兵庫もハット氣が付いて 兵『無禮の段平に御容赦を願ふ』將『尊公は假初にも政宗公の御使者と名乘るにあらずや、夫故當方に於ても其御取扱を致し居るに、重き使命の御身分柄をも顧みず、輕卒の御振舞に及ぶは是れ主君の命を恥かしめると申す者、御靜かに御面談あつて然るべし』宮田兵庫はグッと面色土の如くなりました、此時梁川は言葉を繼ぎ 庄『宮田兵庫怒を靜め心を穩かにして能く承はれ、奸臣藻庭周防を拙者が慶長十三年三月三日上巳の節句の當日、圖らず仙臺大手下馬先に於て討取しは、是れ親の仇止を得ず討取たるのである其次第は皆我國人の知る處且つ拙者が即時町奉行へ自首致したるも決して藻庭周防を討取つたるを訴へたのではない、主君政宗公の大手下馬先を不淨の血もて汚せし段、主君に對して重々恐入たる事と存じ、此罪を御家の規定に依て御處刑を受る所存で自訴せしに何ぞ計らん不法にも主水に引渡された、彼れ主水は親の仇さて我が一命を斷つならば、能よく討たれて遣はす決心でありしが、彼れも再敵の天下の法度と[illegible]れもなき謀反人なぞゝ名を附て、鐵窓の許に繫ぎ朝夕非道の牢問拷問に掛ける天我を憫れんで遂に同年五月廿八日、破牢致して國表を立退いたのぢや』







北京特電

● 蒙古各王通告 内蒙古東西各盟旗の王公等は「カラチン」王を總代とし連署して清國政府に向ひ六ヶ條より成る半獨立的通告をなせり

● 革軍北上防禦 南京の革命軍は其全力を以て北上軍を編成し津浦鐵道によりて北上せむとするの電報至るや政府は張勳に命じ江蘇省常州に於て之を防止せしむるとぞ

● 山東省主力 山東省官軍の主力は第五鎭の外山東巡撫の指揮に屬する巡撫衛兵十大隊あり其大隊は五百名の定員なるも實際三百名を超へず若し革命軍の來襲に際し此等各隊が果して忠實に防禦の任に膺るや否やは疑問なり

● 購入費に窮す 清國政府は軍器彈藥を購入したるも支拂ふべき金額は二百餘萬元に達したるが支拂ふ可き資金なきを以て獨國に對し其擔保として京漢鐵道を提供する事に決し度支部は秘密會議を開き一面交渉を始めつゝありと

● 張勳兵力を集中 目下張勳は其兵力を徐州に集中しつゝあり

● 談判場電命 袁世凱は唐紹儀に打電し講和談判場を上海に移す可き旨を命ぜり

● 媾和有望の報告 唐紹儀は其一行革軍より歡待を受け媾和は十分成功の見込ありと北京政府に報告せり

東京電報

● 米艦隊警戒地 去月二十三日を以て根據地を撤廢したる米國太平洋艦隊「カルホルニヤ」以下四隻は[illegible]

● 媾和談判豫想 北京政府革命軍間の交渉は十五日の休戰期間に[illegible]…主共和とにあり袁世凱の地位を共和調和とした民族を第一回の大統領とし[illegible]明しつゝあり或は漢姓を冒さしめ或[illegible]るにありと雖も北[illegible]して革命軍の滿足[illegible]ありとは推意せられ[illegible]勢如何と云ふに外[illegible]に於ては北京は到[illegible]ものと見るの外なく如何なる點まで讓步[illegible]仲介者たる英國の態[illegible]決せらる可く結局名目を論じ事實は純然[illegible]承認し媾和成立するとらる

上海電報

● 北部進擊劃策 黄興、黎元洪等は北部進擊上に付て連日劃策に努めつゝありと

● 大統領候補 目下英國居留地内に開かれをる各省代表者會議に於て革軍政府第一次の大統領に黎元洪か黄興か[illegible]かを推擧せん事に協和し[illegible]孫德全を擧ぐることに決定せるやに傳ふ

雜報

● 各農銀の成績 十一月中に於ける各農工銀行の營業成績を聞くに左の如し

行名	現金	貸金
漢城	[illegible]	二、五三三、三六一四
慶尙	[illegible]	一、三六九、〇六八
平安	[illegible]	一、八三六、七二八
全州	[illegible]	五四五、二五〇
光州	[illegible]	五六一、三八一
咸鏡	[illegible]	五二八、五二〇
計	[illegible]	七、三六四、四一八

● 外人の所有地處 朝鮮に於ける内地人の土地（田畑宅地其他）所有者は七千六百二十五人にして[illegible]八萬三千四百六十六[illegible]六千六百六十九結宅[illegible]百八十二結其の他八[illegible]五結にして又外國人[illegible]四十六人内田は十[illegible]十三萬四千百四[illegible]十八百五十五結其他[illegible]今之れを國別にす[illegible]人米人六十八人英[illegible]二十四人露國人七[illegible]八二人なりといふ

● 小學教育 朝鮮に於ける内地人小學校の最近概況を聞くに學校數は總計百五十七校にして内尋常科[illegible]百二名女八千百四十[illegible]七十八名女八千七[illegible]教員三百九十二名

● 淸國朝鮮航海 在芝罘政記公司所有滊船勝利（九百噸）廣利（一千百噸）等二隻の滊船は過般まで芝罘安東縣間の航海を爲し居たりしも安東縣は氷結と前後して渤海沿岸の各港縣氷し且つ本年は芝罘を中心とする對南淸關係の冬期航運業の不振甚しきを以て今後の航路を新たに朝鮮對日本內地間に求めんとし視察の爲め店主張本政氏近々仁川經由日本內地に出張すと

● 京城輸移入品減少 南大門稅關に於ける輸移入貿易品は十一月下半期より十二月初旬に亘り稍劇增を來し尙ほ增加の傾向を示しつゝありしに昨今に至り頓に其の減少を示し而かも減少の度合頗る著しきものあり之れ市況一般の不況に原因するものにあらずやとの事なり

● 下級鮮人と鐵道 鐵道運賃高率なる爲め下級鮮人は鐵道の便利に浴すること能はず既に大邱釜山間の如き街道は往來頗る頻繁にて相互間に用事を持てる下級鮮人は大抵徒步三日里程の覺悟を以て一往來しつゝあり又仁川京城間に於ても然りと見る就て之を問へば到底高き運賃の負擔に堪へずと答へ居れり、斯くの如きは決して喜ぶべき現象に非ず且つ交通機關の性質に矛盾するものなり故に當局に反省を促かし滿鐵等の例を斟酌し當線にも四等運賃の制度を必要とすといふものなり

● 驚くべき通貨膨脹 …當地有力の某銀行家談…

◎現今朝鮮に於ける通貨膨脹は非常なもので三千二百萬圓に達してをる、之を一昨四十二年度末の通貨流通高二千萬圓に比較せば六割の增加を示してをる或論者は之を以て半島經濟界の進步發展かのように樂觀してをるが、これ謬見なり、如上急劇なる通貨の膨脹は經濟界の一發調と見る可く、決して樂觀的態度を以て看過すべからず。

◎通貨の膨脹が、何等かの經濟的資金即ち生產の助けとなるものなれば固より憂慮すべからざるも、朝鮮に於ける通貨の膨脹は決して經濟的資金に原因せないで、各個人のポケットマネーの膨脹に起因してをるものなるは、少しく經濟界の事情に通ずるもの丶認むる所であつて、其結果は即ち輸移入品額の劇增を來す等、經濟的惡現象を生ずるに到つて來るものである。

◎又各個人の場合に就いて考へるも、經濟的資金ならぬポケットマネー即ち懷中錢の膨脹は其人に奢侈浪費の傾向を生ぜしめ、甚だしきは往々借金をさへ敢てせしめ[illegible]

◎先づ朝鮮人向の普通敎育に力を用い廣き意味に於ける貯蓄思想を涵養し一面には貯金銀行を各地に設け彼等に貯金を奬勵することが必要である、朝鮮人の常識程度にして今日の如では如何に多額の通貨あるも之を經濟的資本として活用するまでに發達すること蓋し至難の事である。

◎尙鮮人をして經濟的常識を涵養せしむるには盛んに內地邊陬の地に道路等を開通し交通により外部からの刺激を受けしむるが最捷徑であつて、此意味から云へば築港事業の如き或一定の場所に向つて多額の工事費を費やすといふことは半島一般の經濟界に稗益を與へをるものとは云へぬ云々

● 標準時改正 標準時は愈々來る一月一日より中央標準時に準ずること丶なりたるを以て右に關し十三日左の如き通牒を發したり
中央標準時は現行朝鮮標準時に比し三十分早きに付來三十一日現行朝鮮標準時に依れる夜半の十二時を以て新標準時の午前〇時三十分に移りたるものとす

● 半島所在滊船會社數 朝鮮に於ける滊船會社（但個人經營も含む）の數は總計二十二にして政府の補助金を仰ぐものは元山の吉田船舶部釜山の滊船會社木浦の關田船舶部の三個所なるが內定期航行船は六十五隻にして命令航行船は二十七隻なりといふ

● 年賀郵便と注意 十二月十五日より年賀郵便特別取扱を各郵便局郵便所に於てなす事となりしに付ては郵便物差出人は左の件々注意すべし
（一）總て料金完納の普通郵便物は年賀郵便として差出すことを得（二）年賀郵便物には「年賀郵便」と記載したる紙札を附し之を一束とし郵便局又は郵便所の窓口に差出す事但し其數量少きものは之を封筒に納め「年賀郵便」と表記し郵便函に投入す可し

● 淸州に電氣會社計畫 忠淸北道淸州の有志は今回同地に電氣會社を起さんの計畫あり昨今總督府に出願中なりといふ

● 丁業傳習所と柞蠶 工業傳習所にては柞蠶の染色及織布に關し過般來生徒一般に傳習をなさしめ絹の處理及精練漂白染色等につき十分の會得を得たり而して染色は主として朝鮮人の需用を目的とし織布に於ても琥珀、繻り七子、甲紗、官紗等に織上げたりと

電話線路延長 三、一七三里二、四一七里
警備電話線延長 四、一四六里六四二里四、七九〇里
[illegible]線延長 一、〇九八里七六四里一、一七三里

● 度量衡器販賣高 總督府調査に係る本年一月より十月末日に至る各道に於て販賣したる度量衡器の數八萬七千五百四十五個にして同金額四萬三千百三十二圓五十錢五厘なりと

● 各銀行手許在高 其の筋調査に係る京城各銀行十一月末日に於ける手許在高を開くに總額六百九十四萬二千九百八十六圓にして前月に比し二十七萬五千六百九十一圓の增加を示せるが內朝鮮銀行の在高六百五十七萬四千四百九圓普通銀行三十三萬五千五百二十二圓漢湖農工銀行二萬八千〇五十五圓なりと

花山森林に關する實地調査報告（其三）

特派記者

▲輕鐵布設の費用 田島が道路にして、彼れが多額の費用を投じ新たに輕鐵を布設するは、其目的那邊に存するかなり、僅々二千五百本の運搬用の設備を爲すとは記者の語るところなり、斯くも大袈裟の設備を爲すとは記者の首肯し能はざるところなり。

▲土工用に非ず 或者は田島の布設する輕鐵を道路工事に屬する土工用なりと稱す、而かも記者は係りの者に質して其然らざるを慥かむ、田島の計畫は幸か不幸か、其使用人の口を籍り今や日々世間に曝露せらる。

▲明かなる田島の野心 李王職が田島を指名して、與へたる枯損木二千五百本の拂下げ契約は、今回限りの物にして、後日に繼續するものに非ずと云ふ、而るに田島は多額の費用を惜まず道路を開鑿して四千餘圓ならんとは某の語るところなり、而るに同人は右四千圓を負擔したる外に尙一萬五千圓餘を投じて四哩強の輕鐵の布設を企つ、彼れ如何に採算に愚なりと雖ども僅か二千五百本（價格千九十餘圓）の枯損木を搬出するが爲に斯くも多額の費用を投ずることを敢てするものならんや。

▲枯損木と輕鐵 二千五百本の枯損木を材木及び新材としてコナシたる場合に於て若しも幷を輕鐵に因つて運搬するとせば其要する日數は僅かに五日間なりとは某專門者の言なり、茲に於てか當然起るべき疑問は田島の計畫は[illegible]

▲在六所に煙 李王職が田島に向かへ全森林の拂下げを約したる事なきは記者の調査に因り明かなり、然れども同職が今回の拂下げに關し何が故に公入札若しくは指名入札の方法を採らず、特に一田島を指定して之と隨意契約を結びたるか、亦た田島は何が故に道路橋梁及び輕鐵布設工事に多額の費用を投じ、運搬上に付いて斯くも遠大の設備を爲しつゝあるか、嗚呼火の無きところに烟は立たず世人が花山森林全部の拂下げを臆說する決して理由なきに非ず。

大の計畫を爲す、之れ單に矛盾の所爲と見做すべきものなるか否。

▲本森林今後の經營 李王職水原模範場長本田博士に立案の囑托を爲したるは事實なりと聞く、因つて記者は十日花山行の途次同博士に會し、囑托事實の有無及び今後の經營に關する同博士の意見を叩く、博士例の率直の態度を以て記者に對し、答ふるに左の談話を以てす。

▲博士曰く 花山森林今後の經營に關し李王職より個人として或立案を囑托され居ることは事實なり、依つて自分は右立案の材料を得んが爲めに過日親しく同森林を踏査し、特に農林學校の植木林學士をして十日間同山に籠り仔細に同森林の調査研究を爲さしめたり。

▲林學生の實習林 自分立案の全部は今玆に語ることを得ざるも若しも萬一自分にして該森林の經營に關係するとせんか、第一に該森林を以て水原農林學校林學生の實習林と爲したき考なり。

▲國寶として保存 自分は故伊藤公が言はれたるが如く、花山森林を以て國寶なりと信ず、故に之が經營に付いては目前の利益を擧げんことよりは如何にして之れを完全に保存すべきかに就いて留意すべきものなることを信ず。

▲某林學者の意見 森林の保存に關し必要なるは適當なる伐採と植替へなり、老樹徒らに立つて朽つるを待つは天然林の事なり、依つて自分は同森林保存の爲めに何を措いても勉めざるべからざるは伐採植替の時期及び方法の發見なりと信ず。

▲伐採植替面積 全森林の面積を千三百町步と假定し、其立てる松樹の最高齡を百三十年と假定せんか、伐採は之等最高齡の樹より始めざるべからず、而して假りに一ケ年十町步面積に立てる老樹を伐採するとせんか、其生せる空地十町步に稚松を植へ得べく之等第一回植栽の稚松は千三百町步全部老樹の伐採濟となる迄には百三十年の齡に達し現時存するところの巨木と同等なるものとなるべし。

▲八十年計畫 前記は百三十年を一期としての全部森林の伐採及び植替計畫なるが、由來松樹は餘りに老齡となれば若樹の斷台に生長せざるものなるを以て七八十年の計畫こそ却つて有利なるやも知れず、最も斯は研究に研究を重ねたる上ならでは斷言し難しと云々

▲田島等の夢想 林學及び林業上何等の智識を有せずして單に目前の利に汲々たる田島等は李王職今後の森林計畫が十ケ年を以て全部森林を伐採するものと信じ、這回の枯損木拂下げを緣とし、今後も引續いて伐採樹の拂下げを受け得るものと信じ居るやに傳へらる、其夢想の淺薄なる實に嗤笑に値ひすと雖ども、一面彼れをして斯かる夢想に陷らしめしに付いては亦た多少の理由なきに非ず。

▲理由とは何ぞ 曰く玆には明言し難し、唯だソレ正廉にして率直なる李王職事務官鰭川氏の如き決して此理由の構成に與れるものに非ず、嗚呼人事複雜、禍は兎角思掛けぬ方面より起る、豈警めても尙戒しめざるべけんや。（終）

● 仁川水產會社近況 仁川水產會社十二月一日よりの水揚高は一萬千八百三十八圓にして內五百九十九圓は仁川方面の漁獲に係り七千四百十七圓は釜山馬山方面の漁獲物にして此他各所より水產物販賣の委托を受けしもの八百二十二圓なりと

● 取引所愈々出願 豫て釘本藤次郞氏の發起にて當地に取引所設立に關し夫れ〳〵準備中なりしが愈定の準備成りたるを以て愈々來る十五日釘本藤次郞氏外七十名連署にて京城府廳を經由し寺內總督に右設立の認可を出願すべしと

● 大田電氣支店不許可 大田電氣會社にては豫て鳥致院にも支店を設けんの計畫あり其の筋に向つて出願中なりしが右は此の程に至り不許可となりたりといふ

● 宇佐川總督の陞位 東拓會社總裁宇佐川一正氏は今回從三位に陞位す

● 山縣武官の挨拶 總督付武官山縣少將は十三日午前軍司令部及鐵道局訪問

● 勅使河原所長の入京 新任咸興地方裁判所々長勅使河原健之助氏は十二日入京天眞樓に投宿したり

● 露國新領事着任 新任京城駐剳露國總領事ルーフチュ氏は十二日夜入京

● 櫻井京鐵道事務官出勤 京鐵道部長櫻井小一氏は過般來引籠中の處十二日より出勤せり

● 松浦技師の歸期 目下鎭南浦江の水力電氣地點踏査中の通信局技師松浦四郞氏は來る二十日歸東すべし

● 地方局員の民刑事務檢査 十二日より總督府地方局員出張して民刑事務の檢査を行ふ

● 水雷艇仁川入港 第十七十二、七十三、七十四、七十五の四艇は旅順より十二日午前十一時仁川入港し十四日拔錨佐世保軍港へ歸港す

● 咸北聯合品評會 咸鏡北道の慶源、慶興の三郡は今回聯合の品評會を開催し優等出品者百五十八名に賞狀を授與し尙三郡農事功勞者四名の功勞を旌表せるがなか〳〵盛況なりし

公人私人

▲勅使河原健之助（咸興地方裁判所長）十二日天眞樓へ
▲倉長恕（中外通信社長）十二日京城ホテルへ
▲原田隆弘（辯護士）十二日南山町へ
▲川上多磨樹（營林廠技師）十二日龍山へ

京城手形交換高

十二月十三日	一八七五三七、〇〇〇

▲茶袋▼

帝國議會の開期も愈々近づいて來たこれからが政界の大分色づいて來る、ソコで政界も大分色づいて來た政友會が現內閣員を招いて張れば、方や官僚系の中堅を閣ブツ潰し策に腐心して友會の內部に破綻を生ぜしめ民黨が如何に絕叫し、中央藥掻いた所が、下院の大勢は出來ぬ▲たゞ茲に政府の虞るべきは上院に於ける漸く擡出せんとする傾向上院官僚系の中堅たる幸倶政務調査の名の下に其會議會を講じてをる▲要之府の興味問題は上院官僚攻擊戰であると逆睹してサテ此場合に於て財政方の點に付て寧ろ現內閣よりの名譽を荷ふてをる國態度に出るかがチヨッ▲內地半島間の關稅撤廢ぬ問は、眞に經濟的に半ものとは云へぬ、聞く所工部では、日鮮兩土間に必需品に對する移出入稅列國との貿易關係に何等さぬといふ見地から此事せんと目下之れが材料をとか、コウなくてはならぬ工部の當局者が此に留意する。

掲示

本職所管ノ森林内ニ於テ左ノ行爲ヲナスコトヲ禁止ス
一、樹木ヲ盜伐スルコト
一、落葉、下草、灌木類、樹皮、樹實、土石等ヲ採取スルコト
一、火災ノ原因タル行爲ヲナスコト
一、標識ヲ移轉シ又ハ毀壞スルコト
以上
明治四十四年十一月　李王職

國寶「花山森林」を視る（三）

天眞生

一路坦として砥の如く車疾きこと矢の如し、行くこと幾何ならずして右側に監獄の如き建物を見る亞鉛海鼠板にて四方を張り繞らす家根は死にして窓に鐵棒を嵌めたり、**水原に監獄署**ありとは未だ耳にしない所だ、疑ひつゝ車の馳すに任し門前を過る時門標やあると一瞥を之れに與ふれば即在り曰く『東洋拓殖株式會社水原出張所』と、外よりする盜賊や放火を防ぐ用意は充分だが内部にも亞鉛板を張り繞らし鐵棒を嵌めた用意があるか、小作人に對しては一升一合の微だも誅求し内に千斗萬斛の大盜を養はずんば幸なり、宇佐川さんは軍隊教育を受けた閣下の所謂完全なる人である元より此用意は丸有んならう、と安心して居る内にも人力車は遠慮なく走つて——尤も遠慮をされては堪つた譯にならず——大邱府城門に近き三叉路を右に釜山街道に入る、とある路傍に石碑三基を見る孰れも例の善政碑、嗚呼善政なる哉善政なる哉、石に化すもの獨のみならず**善政も又石に化す**、イヤ人間も皆んな一度は石に化すのなり、如何です、少しは後世も思召して石に化る如な善政は可哉爲ぬが兩爲ですななぞと詰らぬ事を言ふて居る間に人力車は左に危ふげなる土橋を渡りて右に曲る、クヌギ並木の落葉して冬枯れの昔偲ばるゝ古驛路外れ鐵道の敷設に日に寂れ行く面影の淋し味、風は北よりして西に南に向ふ我耳を襲ふ、外套の襟搔き合せて眼を上れば**花山一帶の丘陵千歲の翠の色**をなして遠く近く力なく照る冬の日に禿げ爛れたる露頂を晒す諸山を睥睨して居る、クヌギ並木の杜斷れて松並木に入る邊より**道は朝鮮式**となる宛然に粟餅の如くガタンピシンドシンゴトンと揺れる〳〵、温き日は冴て解ける、牛や牛車が踏み荒す、寒き夜は其儘に氷りて此の剣の山を成すなり實に物語りに聞く冥途にありてう火の車に乘りて剣の山を行くも斯くや一度や二度は叩き附けらるゝものと覺悟して二重廻しの羽根搔き合せて**一命を車夫に托す**無慘とも無慘なりかしだ、眼を四方に馳せて水田火田を見る、稻田は刈りたるまゝに鋤き返されず火田は平坦々として板の如く麥の青きもなし、山は緒に畑や畓や褐、排水の設備なければ雨が降れば道路よりも高き畑よりは水瀧となりて茲に注ぐとぞ知られたり、**道は自然の排水溝**此邊より既に**諸所に松材の積重**ねられ溫突の烟もターペンタインの香を漂はす、沿道の民家の露臺、牀楹生々しき松材の白木造り如何に松材の豊富なるかを窺はれる、豆の收穫に多忙はしき里民は我等一行が物々しき轍の音に手を休めて見送つて居る、道較坦にして人力車は疾く花山陵森林入口の大石橋の畔に其轅を下す、橋下の水は西溜より來るもの音もなく渦紋をなし悠久として南に去る、末は太平洋に入りて鯨鯢が浮寢の床となるのである、天長地久、君が大御代の如し、花崗石橋幅約八間長サ二十餘間あれば身は既に**花山森林中の人**たり、松籟瑟々として天樂を奏し八十五萬圓の大斧鉞身に薄るを知らざるもの、如し笑まんか笑はんか、本記事冒頭に掲ぐる制札は即ち花山森林入口に掲示せられたるものである（つゞく）

●盛なりし長唄嗜好會（四）

鄒良狹衣

何と何との幕合であつたかは忘れたが芳村伊壽江を上に文之助、勝利の三元老がズラリ列んで一座爲うは御座りますがの挨拶あり、其列んだ顏の内に一つ赤い縮いを通り越して少々黑い顏がある、と夫れは勝利だ、ハテと首を捻らざるを得ない、文之助はと見ると白い、ハテなど首を捻らざるを得ない尤も勝利決して色クッキリと白い方では無いが今日は又餘りだ、文之助も同じくだのに當夜は色クッキリと白い、た白粉をつけて居るのだ、當日は座うしたと云ふことか、文之助、た白粉はつける美音錠は飲む、未だ色氣付く齡でも無いのに、妲の前もあるのにサ、閑語休題、今の總督府の方は皆た堅いので河豚は馬陽で無ければ中毒るものとして京城では可成食はん顏をして偶座る所爲だらう餘り顏が見ぬ、**長唄嗜好會と河豚とを一緒**にしなくとも好さ相なものだに、淺野三井物産、野田宋栗曉子なぞが東の商で女にマブレて居る、管野惡たれ屋が惡たれもせず溫和だ、アンナに濡和しいと何か善い物を上げずばなるまい、擲翠の**江戶奴**の長唄『**松の綠**』三味線は伊壽江、菊家の菊枝、御祝儀もの、賑やかに唄ひ納めた唄の調子がツイ先刻清元を唄つた所爲かやゝもすると清元に成りたがるのを引き戾し〳〵唄ひさめたは上出來**菊枝の技の聞く度び毎に著しい進境**を見せるのは嬉しい舞臺の上でも初々しい所作物腰、生き〳〵した眼に惜の間き好い娘振りだ當夜は此れと云ふ動き場も無つたのは氣の毒、大切の『**元祿花見踊**』樂屋總出の美しいこと賑かな事（昨紙若龍の較馬にツレを彈たを淸華の三吉としたは**春吉の誤り**）此より前**淸華の政菊**が何かにツレを彈いたのだが控へを落して終つたので只々記臆を辿つて書いて居るので忘れたのは同人に氣の毒だつた、伊壽江の三味は敗跡を省いて單に其初から終までの勢を多とする。十時半過ぎ無事も無事も大々的に無事に散會、當夜の遺憾なりし點を云へば下方の無いこと、舞臺の上を簡脫の道具立てなりし爲め辭が皆其方へ逃げだ事だ、感心の方面は澤山ある中にも聽客の上品なる相手が藝者なるに拘はらず**徹頭徹尾一言の評語を放**たず拍手を以て迎ね拍手を以て送つた態度與に**紳士淑女の會合**たるに恥ぢざりしと**樂屋内の睦**じさ恰も一家の如く大きい聲を出す者さへない靜かさが嬉しい内の嬉しい筆頭イヨ元老萬歲、埒外に出ると又しても武者振ひ、イヤ此の分は寒いからで御座つた、春にも成つたら又催されると云ふ、來年の事を申したとて可笑ければ笑ひ下さい（終）

社告

鳥兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就ては本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位**玉稿の御寄贈**に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家**川端玉章翁**に依囑して成りたる**勅題松上鶴**の祝畫にして其高尚優美なるは贅言を要せずと被信候

十二月　**京城新報社**

●譯の判らぬ略人犯

▽母が戀しいから義妹を

西部盤松坊冷洞居住の金昌信（五七）は妻申姓女（五〇）との間に金點用（一〇）と呼ぶ娘あり何不自由なく日を送る者なるが妻の申姓女といふは元開城にて宋雲甫に嫁し本年二十一歲になる宋萬浩を儲けたるも十數年前離緣されて金の妻となれり萬浩は實母の京城に住むを聞き生みの母戀しさに尋ね來りては開城に連れ歸らんとし去月二十七日も態々來たりて手を取らんばかりに勸めるが人妻の子まで餓けたる身なれで容易くは諾はざりき萬浩は詮方盡きて此上は娘を欺つて逃げ歸らば母も心動かされて吾家に歸り來たらんと折を窺ふ中に出入する尾洞の李召史（五〇）方に交河郡靑岩面の許致甫が娘を貰ひに來たりて雜意の間柄なる李召史方を訪づれて相談しけるを垣間聽きて萬浩は打背き幸ひ金の持ち合せも無くなりたれば一つ義妹を楯つて賣り飛ばさんものと許、李召史並に同居人なる朴召史の四人諜し合せて本月一日金點用を拉し來たり僞の親を立て、承諾したる如くに裝ひマンマと義妹を二十圓にて許に賣り飛ばしたるを金昌信の訴へにより關係者一同を西大門分署に引致し取調べの上略人犯として十二日許致甫宋萬浩李召史朴召史の四人を京城地方裁判所檢事局に送る

●妙な屬官と高利貸

▽不思儀とも不思議

鹿兒島縣人日高貞夫の私書僞造行使詐取財事件は十三日檢事の求刑通り懲役一年に處せられしが該事件の被害者たる十八銀行支店支配人足立龍二郎氏と債權者中野權六とは知己にして中野は十八銀行を取引銀行と爲し居れば大低毎日の如く足立氏とは出會し足立氏の位置として高利貸より高利を出し僅に金五百圓許りを借用す可き筈なきに日高貞夫が委任狀を有し居たるのみにて貸與し其の後毎日出會し乍ら何たる話しも爲さゞりしとは如何にも不審に思はれ又京城府廳の土地證明係り高尾鳳も足立氏とは懇意なるより不審に思ひ乍ら一回の照會もなさず證明を與へたる廉に依り高尾鳳は目下當該監督官廳に進退伺書提出中なりとは怪しき事件かな

●都旅館の大目玉

▽待合類似の廉にて

南山町一丁目三十九番戶都旅館事森ヤスヨ（二九）は既報大和町旭町の各官舍荒しの岐阜縣人毛利勗（十九）が臓物を賣却若しくは入質したる金を旭町三丁目開淸庵にて浪費し揚句が同家の娘村上蝶子（十七）と共に都旅館に宿泊し居たるが去る七日の夜同人等が宿泊したるを其の筋に屆出ざりし事毛利が檢擧されて發覺したるより過料金一圓五十錢に卽決され嚴重なる訓戒を受け將來斯る不都合ある場合は營業停止せらる可

●兒玉局長の僞使者

▽膝掛二枚を騙取す

米倉町下宿岩國屋止宿愛知縣人中野力榮（三三）は去月二十七日本町二丁目和洋雜貨商塚谷ハナ方に至り人力車に乘りたる儘兒玉會計局長の使なりと僞り毛織膝掛二枚（代八十六圓）を騙取し其筋に檢擧され十三日兩角檢事の手にて公判に付せられたり

●群山日報社燒く

▽原因は不明なり

群山港にある群山日報社より十三日午前五時出火し同社の建物及び附近の家屋五棟を燒失して同七時鎭火したり同社は最近に於て機械活字を新調して紙面を擴張したるもの惜むべきなり

●**蒲鉾の如な鮮人**　龍山老松町八十九番戶藤田安之進氏の請負に係る同地小學校建築工場に於て建築材料の紛失さるにより注意中の所去月廿一日龍山面紅德里十統十戶崔士俊（三四）は同工場より紅松板二十枚を南鐵昌（一三）なる少年に見張りをなさしめ同地岡野理髪店裏路次に背負ひ行きたる處を同工場の者に見付られたるにより直ちに其處より逃走蹤跡を晦まし居りたるが此程龍山署の徐巡査補に檢擧せられ拘引十三日檢事局に送られたり

●**娼妓の無斷外出**　龍山桃山町紀の國樓第二種藝妓錦山事大槻みな（二三）は許可を得ずして大島町邊に外出したる處を井上巡査に認められ龍山署に於て科料金五十錢に處せられたり

●**小栗榮吉の公判**　高利貸小栗榮吉の詐欺取財第二回公判は十三日午後一時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て開廷せられ被告辯護人は前回と同じく辯護士木尾虎之助大久保雅彥の兩氏出廷し被害者の民事私訴代理人として中村辯護士出廷せり當日は辯護人の申請に係る樋田仙藏張漢翼の二名を證人訊問あり終つて檢事の論告辯護人の辯論ありて言渡は追て宣告す可しと閉廷す

●**聞た丈でも痛い**　中部帽谷洞七十二統二戶車夫柳元植（三二）は十二日午前二時頃酩酊して朴淵學の周衣を破り笞三十に▲南部草洞四統四戶金成實（四〇）は酩酊して張鳳煥方に至り家人に亂暴し同三十に何れも北部署に於て卽決

●**貰「スイート」の發賣**　南大門通り三丁目にスイート藤井商會は煙草スイート販賣店なるが此の煙草スイートは愛煙家煙評を豫防し煙草の香味を増し衞生經濟上便宜なりと因に一袋二錢と五錢とあり十錢以上の注文は市内遠近に係はらず配達す可しと

●**吉辰丸の坐礁**　仁川南岸町協同組扱ひ吉辰丸は去六日群山沖に於て座礁船底に損傷を生じたるが十三日午前六時郵船會社瀛船晉羽丸に曳かれ仁川に入港したりと

●**此れも貧故**　中部中谷洞十四統四戶梁錫煥は十二日午後四時半頃本町三丁目丸一呉服店に陳列の双子木綿一反を窃取し南部署に捕はれ取調中

●**金壹圓を拾得**　仁川本町四丁目福田久藏は一昨日午前十時郵便局前道路に於て寄聞紙幣一枚拾得屆出づ

貨物賃金　五三七、五九〇

中學講義録

中學科を自宅にて獨習せんとする人に最も適するは大日本國民中學會の發行にかかる中學講義なり講述懇切丁寧にして最も平易なれば奈何なる人も難解の憂なく恰も良師に就て學ぶと同一也

大日本國民中學會は會長尾崎行雄指導の下に斯道専門の大家講述の任に當り講義の完全優秀なるは夙に天下に公知の存する所なるが最に文部陸軍遞信の三大臣より賛辭を受くる光榮を得せ

大日本國民中學會卒業生は都下三大學各専門部特科に無試驗入學することを得べく希望により學費を貸附し高等の學校に入らしめ特志の士には海外留學の大特典あり詳細は規則に就て看よ

目下第十六回新學期を開講し會員募集中なり新入會者既に三萬に達せり此際に限り入會金全免其他各種の特典有り見本及規則は東京市神田區駿河臺大日本國民中學會へ申込次第無料郵呈

新年用繪はがき

御用意の期節はいよいよ切迫せり

▲年賀文字はがき（一枚三厘より一錢まで）
賀正とか謹賀新年とか其他挨拶の文句を活版又は石版にて印刷したるもの數十種類あり

▲めでたき年賀の繪圖（一枚五厘より一錢まで）
松竹梅とか鶴亀とか正月用としてめでたき繪模様を奇麗に印刷し値段も恰好にして体裁のよろしきもの百餘種あり

▲子年に因める鼠の繪（一枚一錢より十錢まで）
子歳の新年で鼠の繪を色々に工風を凝らし意匠もおもしろく而かも美術的に調製したるもの百餘種あり

▲高尚なる祝賀の繪圖（一枚二錢より八錢まで）
祝賀用の圖案に種々なる意匠を加へ最も高尚美麗にして上品なるもの數十種類あり

▲勅題松上の鶴（一枚三錢より五錢まで）
御題も松上之鶴と定まり目出度事此上もなし古今大家の肉筆を寫眞版となしたるもの又は御題を意匠したるもの數十種あり

▲朝鮮風景風俗新年意匠（一枚二錢五厘より六錢迄）
朝鮮の風俗又は風景を寫眞版として新年意匠を加へたるもの又は大家の筆に成りたる風俗畫の愛らしきものおもしろきもの數十種あり

▲朝鮮風景風俗繪葉書（百枚一組特價金壹圓）
●朝鮮各地の有名なる名所諸建造物其他上中下流あらゆる一切の風俗妓生美人等を寫眞版に印刷したるもの一枚づゝ百種取揃へあり

▲繪葉書福袋　十枚入（一袋　定價金十錢）
●一年中の藏ざらえ朝鮮物も花も美人も滑稽も子供もあれば景色もあり日本物舶來もの色々取合せたる割安品にして何が飛び出るやら趣味あり面白きこれなぐさみもの

●以上新年繪葉書の見本御入用の節は金五十錢以上御前送に限り定價の三割引を以て御望みの品を一枚宛取揃發送可仕候
●御注文の節は前金御送付か又は弊店振替口座に御振込被成下度代金引換は引替料を要し御不利益に有之候
●御注文の節は御好の向直段等詳しく御申越下され度然候へば恰好の品見計らひ親切に御送附可仕候
●繪葉書に住所御氏名等印刷すべき場合は實費を以て御引受可申候印刷代壹百枚約三四十錢に有之候

繪葉書の撰擇は其人の品位を表はす

電話番號九百五十六番　京城本町四丁目　日之出商行　振替口座京城四〇二番
（特約代理店）　玉村書店　（大邱元町）

謹告

弊店儀先般金露壹升瓶詰出は中々多大なる御愛飲各位の御賛同を以て非常なる盛況を得し品質價格の御鑑別に外ならずと奉深謝候就ては今回更に体裁優美なる金露四合瓶詰化粧箱入は全く左記の値段を以て御報恩の爲め歳末迄に大賣出し仕候間直接又は最寄の販賣店にて御購求の程希上候　歳末歳始御贈答用佳品　敬白

大坂衛生試驗所檢査證明封緘貼付
朝鮮總督府衛生試驗所檢査合格
大安心





金露四合瓶詰壹打化粧箱入　金三圓四十五錢
金露四合瓶詰半打化粧箱入　金壹圓七拾五錢
金露四合瓶詰壹打括　金參圓參拾錢
金露四合瓶詰半打括　金壹圓六拾五錢
金露一升瓶詰一本　金七拾五錢

外に酒券　体裁優美高尚なる切手發行仕候　酒量壹升以上金額五十五錢以上

金露印清酒釀造發賣元
京城明治町一丁目
大塚京城支店
長電話四〇一番
振替口座京城五七〇番

腦病全治新藥



神經をおちつめ腦病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病、神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

記憶力惡き人頭痛する人神經衰弱にて氣分鬱ぐ人常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

（劑價）一日半十錢、三日分卅錢、七日分五十五錢、二週分八十五錢、五週分[illegible]

本舖大阪心齋橋[illegible]　分店大阪平野町[illegible]　支店東京日本橋[illegible]　[illegible]

代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
電話九〇四番一〇六八
振替口座京城十六番

開店御披露

弊樓事豫て新築中の處愈々落成致し本日より開店の事と相成申候間御披露致し度次第に御座候御酌に候ふものは小萩紅梅、白菊、すみれ、芙蓉、百合花、あやめ、なんどに候何分の御引立偏に願上候　敬具

十二月十三日
仁川敷島遊廓
一川樓
電話三三番

活版印刷機械

足踏四頁、六頁より廿四頁迄で四六版型、菊版型各種印刷機械製造世の進運に連れ開業滿七ヶ年の功勞を積み製造機械は總て舶來の機械を使用し鐵を重ね今や工場に於ても苦心研究候に付當工場發賣の機械に限り最も精確堅牢なる上嚴密なる調査を經ざれば決して發賣せず依て此段御安心の上御用命願ひ度尚今回に限り特別大勉強仕候間好期を逸せず續々御注文あらん事を奉希上候
尚十年の保險證を進呈仕候
大坂市東區内平野町一丁目谷町西へ入
製造發賣元　渡邊鐵工所　所主渡邊治
振替口座大坂四七一二番

男ちぢれ女くせ毛　赤毛
許特賣專
赤毛は何程の縮毛も根本的に矯正黒化する新發見品を勤勞封入申込の方に教授致す
許可を得て美髪に治して差上升
東京市麻布區材木町　岩阪澄子

諸公債諸株分
現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業　既製洋服御小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中

各種上等石炭

△日本産石炭名▽
金線・高島・唐津・江谷
△平壌産無煙炭▽
卵形・煉瓦形・無煙・塊・粉炭
煉炭・煉炭・無煙炭・無煙炭・炭

石炭直輸入商
西崎商店
京城西小門通四十七番
電話七二七番

齒科治療

本町六丁目（角そば横町）
ドクトル
中村安子
女子見習募集委細面談
（電話一五八三）

英國セフヒールド市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用　地球鷲印八角鋼
道具用　同　角磨鋼
職工用　同　鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地の材料に最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

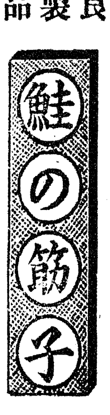
京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

物理化學機械
模型標本類
體操及運動具
教具校具一式
測量製圖機械
水彩及油繪用品一式
和洋紙帳簿一切
歐米文房具

●新案韓語栞發賣所●
●國語指南●

朝鮮京城本町三丁目
平田商店
教育品部
用達部
電話一一五番
電信略號（ヒ又はヒラタ）
振替口座京城四六八番

改良
特製
珍品



新荒卷鮭
鱒、紅鮭
數の子

◉右原産地より多數輸入廉價に販賣仕候間多少に不拘御用命の程奉希上候

食料品卸賣
海産物貿易商
京城南大門内米倉町市場
池尻林太郎
長電話三五一番
振替口座京城八六番

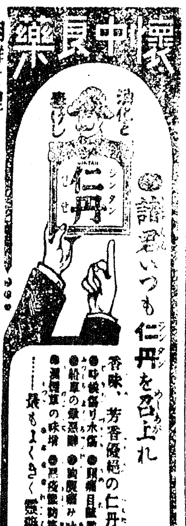
元祖　食パン

菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用

製造御小賣商
京城太平町二丁目
相川兄弟商會
（電話一一八九番）

釜山富平町一丁目
相川兄弟商會支店
（電話二七六番）

懷中良藥



朝鮮代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房

十二月渡船出帆廣告

三省丸　商島行　十二月十六日午前十時
安歡丸　中串行　十二月十日午前十一時
三省丸　知州行　十二月十五日午前九時
大湖芝行　十二月十二日午前十時

仁川本町四丁目　電話一七三番

合資會社秋田商會船舶部
仁川本町一丁目　電話七五〇番

荷客扱所
秋田商會船舶部荷扱所
仁川本町海岸通　電話四一九番

仁川本町四丁目　柴田回漕店
山本回漕店　電話五二三番

最上醤油
特約販賣
仁川京城
高雄支店

入院
隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三一五番



代理店　京城南大通三丁目　新井藥房
電話九〇四番一〇六八
振替口座京城十六番

發行所　大坂市北濱一丁目
元へブリン丸調劑　參天堂藥房



大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり